

令和6年度第2回碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

議事要旨

日 時	令和6年11月12日（火） 午後3時～午後4時30分		
場 所	碧南市役所 7階 議員大会議室		
出席者 ■出席 □欠席	推進会議 委員	■小池市長 □石川委員 ■横山委員 ■原田委員 ■磯貝委員 ■鈴木委員 ■請井委員 ■岩崎委員 ■今成委員 ■古澤委員 ■森委員 □稲生委員 ■天野委員 ■鈴木委員 ■神谷委員 ■高須委員	
	事務局	杉浦総務部長、山本経営企画課長、杉浦経営企画政策推進係長、杉浦主査、磯貝商工課長、亀島農業水産課長、中川環境課長、山田デジタル推進室長、堀田地域協働課長、生田防災課長、小林高齢介護課長、金原健康課長、鈴木こども課長、石川土木港湾課長、山田建築課長、鈴木都市整備課長、松野庶務課長、森川学校教育課長、中嶋スポーツ課長	
傍聴者	0名		
次 第	1 市長あいさつ 2 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称・人口ビジョン含む）（案）について 3 今後のスケジュール（案）について 4 意見交換		
1 市長あいさつ	○市長よりあいさつ		
2～4	○本日の議事録及び資料は市のホームページで公開することを説明 ○2から議長（市長）により進行、事務局から資料説明 ○2及び4により聴取した内容は以下のとおり		
委員からの主な発言			
次第2よりの意見			
岩崎委員	○総合戦略の名称について、国と合わせないのか。 ○外国人の年齢3区分人口について、80%以上が生産年齢人口となっている。しかし日本人は今後も減っていく。外国人と共生していくためには今後様々な課題が出てくると思う。これは地域で活動する人がどんどん減っていくことを示している。地域でのまちづくりの担い手を確保することを市としてどう考えているのか。 ○有償での地域活動も必要ではないかと思う。こういったことも検討して欲しい。		

事務局	○国はデジタル田園都市国家構想という名称であるが、愛知県はまち・ひと・しごと創生総合戦略としているため、県に準ずる形をとっています。 ○地域の担い手づくりはたしかに課題であると思います。今後もボランティアの育成等力を入れていきます。ご意見ありがとうございます。
天野委員	○観光入込客数の定義を教えてください。 ○公共交通利用者数と観光入込客数の相関について数字からうまく読み取れなかったので教えてください。 ○仕事と生活の調和（ライフ・ワーク・バランス）とあるが、ライフワークバランスであれば生活と仕事の調和ではないか。また、一般的にはワーク・ライフ・バランスと呼ばれているように思うが。
事務局	○観光入込客数は市の公共施設等に來た方をカウントしている。あおいパークや美術館、水族館等があります。 ○観光客は必ずしも公共交通機関を利用しているわけではないので、公共交通機関利用者数の数値との乖離があります。 ○市長が職員に対して伝えている言葉が、ライフ・ワーク・バランスです。日本語の表現につきましては訂正させていただきます。
次第４よりの意見	
横山委員	○人口ビジョンの説明にもあったように、外国人が非常に多いと感じていて、商店街でも外国人と話せるアプリや英会話などに力を入れていきたい。 ○商店街ではバナーコンテスト等の新しい事業を始めるなど、商店街を盛り上げる活動を続けている。 ○デジタルクーポンを碧南市で行ってほしい。
事務局	○いただいた意見を担当課に伝えます。
原田委員	○これからにんじんの収穫に入っていくが、まだまだ気温が高い日が続いている。にんじんは寒さがないと甘みが出てこないので、農家は気温が下がるのを待っている。 ○お米については、報道のとおりかなり不足している。不作や買い占めの影響を受けている。
事務局	○市としても碧南の農産物の魅力を発信し、伝えていきたいと考えています。今後も協力していきたいと思います。
磯貝委員	○海がきれいになっている。これはありがたいことだが、きれいな海は栄養がない海ということで、愛知県の漁獲量は減っていて厳しい状況は続いている。現在は企業・大学と連携して栄養のある海を戻そうと取り組んでいて、少しずつではあるが海に栄養が戻ってきている。 ○漁師の高齢化が進み、４０歳未満の漁師が４０人程度しかいない。この人数を確保することも厳しい。
事務局	○ご意見ありがとうございます。
鈴木委員	○市の総合戦略の改訂案について、インフラ整備について全方位的に対応していただいているのでありがたいと感じている。 ○気になる点として、防災に関することの記述が少ないように感じた。
事務局	○いただいた意見を参考にさせていただきます。

請井委員	○総合戦略の内容について、不妊治療助成事業があるが、これは愛知県の補助金である「元気な愛知の市町村づくり補助金」の今年度の採択事業となっている。事業の進捗状況について伺いたい。
事務局	○不妊治療については、外国人の方も含めて多く申請を受けている。当初の想定よりも多く申請を受けている状況です。
岩崎委員	○三世代同居の補助等の個人の資産形成に対する補助は慎重に進めてほしい。 ○全国的に進んでいる「書かない窓口」等のD X推進はどのように進めていくのか。
事務局	○4月よりデジタル推進室ができ、全庁的にD X推進を行っている。ご指摘のとおり、書かない窓口は当市の課題となっており、現在は検討を始めた段階です。他の市民サービスに関わってくるところも力を入れていかなければならないと考えております。
今成委員	○日本政策金融公庫では、創業者支援に力を入れている。前年度比にして110%以上となっており、創業する方が増えている。また、70歳以上の方が創業するケースもある。こういった現状から、生産年齢人口という範囲を設けずに全方位的に支援できる体制を構築する必要があると考える。
事務局	○ご意見ありがとうございます。
古澤委員	○「安心して住めるまち」をつくっていくのが行政と我々金融機関の大事なところかと考える。 ○多文化共生として、外国人の方も使いやすい金融サービスを提供することも大切ではあるが、一方で外国人口座を使用した金融犯罪が発生していることも事実。行政と金融が協力して安心して住めるまちを実現していきたい。
事務局	○ご意見ありがとうございます。
森委員	○ハローワーク碧南は非常に小さなハローワークであるため、地域に密着している。 ○外国人の相談は増えている。様々な言語での通訳が必要であるため、非常に苦勞している。 ○外国人の離職理由として、1番は言語の壁である。このあたりを行政と協力できればと考えている。 ○障害者等の雇用で通勤手段が1番の問題となっている。運転できない就労者のために公共交通機関の充実を要望したい。
事務局	○いただいたご意見を担当課に伝えます。
天野委員	○弊社は通信サービスの会社であるため、所管は総務省となっている。よって国のデジタル田園構想を実現していかなければならない。今回の総合戦略改訂の内容については、D Xに関する項目も多くなっているので、今後も協力していければと考えている。
事務局	○ご意見ありがとうございます。

鈴木委員	○保育園において、外国籍の子の通訳が問題となっている。 ○中学校の不登校について、これから３月に向かって増えていくことが問題。 ○避難所について、地区によっては距離が遠いところがある。 ○児童クラブのこどもたちの利用の仕方について、行きたがらない子が出てきている。児童クラブの在り方を考えていってほしい。
事務局	○いただいた意見を担当課に伝えます。
神谷委員	○臨海体育館のトイレについて、洋式化を進めてほしい。現状施設の中にひとつしかない。
事務局	○ご意見ありがとうございます。
高須委員	○専門的に農家をしていた方が農業をやめられて、その空いている農地で別の方が農業を始めたが、やはり広すぎて管理ができなくなってしまう、草が道まで出ている状況になっている。本格的に農業をやってきていない方がやるケースの課題かと思う。 ○変則的な交差点があり、交差点のそばにある農地の所有者が亡くなってしまう、草が道に出ている。私有地であるので、勝手に草を刈ったりできないので困っている。
事務局	○土地の所有者がわかっているれば、土地の管理について指導はしています。今回のケースは所有者が亡くなっているということなので、該当の場所を教えてください対応したいと思います。